

ナンバリング		授業科目名 (科目の英文名)					区分・【新主題】 / (分野)							
		運動器・皮膚コース (皮膚科学) (Dermatology)												
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語			担当形態				
						日本語	-			オムニバス				
担当教員	氏名 波多野 豊 (皮膚科)													
	E-mail hatano@oita-u.ac.jp 内線 5882													
授業の概要	皮膚の構造と機能を理解し、主な皮膚疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。													
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1	皮膚の組織構造、細胞形態、角化の機構を説明できる							○					○	
目標2	皮膚検査法について説明できる							○					○	
目標3	皮膚疾患の病態、診断、治療について説明できる							○					○	
目標4	外表再建について説明できる							○					○	
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								5					5	
授業の内容														
1 皮膚オリエンテーション：皮膚の構造と機能皮膚の見方(原発疹と続発疹)														
2 形成外科総論：形成外科全般について														
3 母斑・母斑症：母斑と母斑を伴う疾患群について														
4 細菌感染症：皮膚細菌感染症の診断と治療														
5 薬疹：薬疹の種類、病態、診断、治療														
6 紫外線による皮膚疾患：紫外線関連皮膚疾患の種類、診断、治療														
7 蕁麻疹・多形紅斑等：蕁麻疹・多形紅斑及び皮膚アレルギー疾患の病態、診断、治療														
8 ウイルス感染症：皮膚ウイルス感染症の種類、診断、治療														
9 梅毒・真菌症など：梅毒や真菌症や特殊な虫刺症とその関連疾患の診断、治療														
10 アトピー性皮膚炎・接触皮膚炎：アトピー性皮膚炎や接触皮膚炎の皮膚の特徴と病態を学び、湿疹についての理解を深める														
11 リン腫・乾癬・角化症：皮膚に特徴的な皮膚リン腫の診断と治療 乾癬及び角化症の病態、診断、治療														
12 付属器疾患：さ瘡、酒さ、脱毛症などの皮膚付属器疾患の種類、病態、診断、治療														
13 熱傷：熱傷の病態、診断、治療														
14 外表再建：再建の基本的な考え方と様々な再建方法														
15 褥瘡・潰瘍：褥瘡や潰瘍の原因と対策、創傷治癒の基本														
16 全身疾患に伴う皮膚病変：全身疾患の診断や状態把握に役立つ様々な皮膚病変														
17 腫瘍皮膚疾患：皮膚良性腫瘍、皮膚悪性腫瘍の種類、診断、治療(ダーモスコピー所見を含む)														
18 膠原病：膠原病や血管炎に伴う皮膚病変の診断と治療														
19 水疱症：自己免疫疾患の種類、病態、診断、治療														
20 皮膚科総論(検査・治療)：皮膚科の検査、治療全般について														
21 アトピー性皮膚炎・皮膚アレルギー実践編：アトピー性皮膚炎および皮膚アレルギーに関する実際の診療に実践的講義														
ラーニング グループ	A:知識の定着・確認	○ 適宜課題を設定し、レポートを提出させる。					その 他の 工夫	なるべく多くの皮疹や病理写真を呈示し、視覚的に理解できるように工夫する。						
	B:意見の表現・交換	○ 講義の最後に、講義内容に即した臨床問題を提示し、学生同士での議論												
	C:応用志向	○ をしてもらう。												
	D:知識の活用・創造	○												
授業時間外 学修の内容 と時間の目 安	準備学修	(10 h)。参考文献等の情報を必要に応じて予習する。												
	事後学修	(30 h)。各自の講義内容の整理、復習の他に、講義・実習中に、適宜、学習課題を設定する。学習課題によってはレポートを課す。												
	総時間合計	40h												
教科書	清水宏、あたらしい皮膚科学、中山書店、2018年、ISBN-13：978-4521745817 岩月啓氏、他、標準皮膚科学、医学書院、2020年、ISBN-13：978-4260038881													
参考書	Elder DE, et al. Lever's Histopathology of The Skin, LWW; Twelfth, 2022, ISBN-13：978-1975174491 中川浩一、大原國章、伊藤孝明、皮膚外科学、学研メディカル秀潤社、2020年、ISBN-13：978-4780909494 新井栄一、土田哲也、実践皮膚病理診断、金原出版、2017年、ISBN-13：978-4307400565													
成績評価 の方法及び 評価	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10		
	記述試験	100 %	○	○	○	○								

注意事項	
備考	
リンク	URL https://
担当教員の実務経験の有無	
教員の実務経験	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	
教員以外の指導に関わる実務経験者	
実務経験をいかした教育内容	

別表) DP の対応表

DP	学部共通	大学院共通
1	<p>専門的知識・技能の活用 (Application of Expert Knowledge and Skills)</p> <p>専門分野に関する基礎的な知識や技能を横断的・総合的に活用することができる。</p>	<p>高度な知識と知的能力</p> <p>高度な知識、知的能力及び技術を活用し、自立した研究活動ができる。</p> <p>キーワード：【知識基盤】専門分野の知識、研究方法、情報探索、情報管理、【認知的能力】分析能力、批判的思考、問題解決能力、【創造性】探究心、イノベーション</p>
2	<p>コミュニケーション能力 (Written and Oral Communication Skills)</p> <p>日本語や外国語を用いて、自らの意見を文章および口頭で論理的に表現できるとともに、他者の意見を傾聴することによって、多様な人々と円滑に相互理解を図ることができる。</p>	<p>確かな研究マネジメント能力</p> <p>専門家として、研究倫理を遵守しつつ、研究を計画し、適切に管理・遂行できる。</p> <p>キーワード：【研究マネジメント】研究計画と遂行、【専門家としての行動】倫理、知的財産権と著作権、他者への配慮と守秘義務、引用と共同執筆のルール</p>
3	<p>創造的問題解決力 (Creative Problem Solving Skills)</p> <p>個人または他者との協働で、課題を発見し、批判的思考法を用いた創造的解決策の提案、解決への取り組みを行うことができる。</p>	<p>社会を牽引する能力</p> <p>協働プロジェクトの運営管理や研究成果の発信により、地域と国際社会の発展に貢献できる。</p> <p>キーワード：【他との協働】チームワーク、リーダーシップ、ダイバーシティ、【コミュニケーションと普及】、【エンゲージメントとインパクト】</p>
4	<p>社会的責務と倫理 (Social Responsibility and Ethical Reasoning)</p> <p>社会のルールや規範に則り、自らの良心と良識に従って行動することができる。</p>	N/A
5	<p>地域発展・人類福祉への貢献 (Contribution to Regional Development and Human Welfare)</p> <p>インクルーシブな視点を持ち、多様な文化・価値観を尊重しつつ、社会における自己の責任と使命を認識して、地域の発展と人類福祉の向上のために行動することができる。</p>	N/A
6	<p>生涯学習力 (Lifelong Learning Skills)</p> <p>学ぶべき内容を自ら把握して目標を設定し、高い学習意欲と探究心を持って主体的に学修することができる。</p>	N/A
7	<p>N/A</p> <p>※医学部看護学科専門教育科目 (2025 年度まで) 豊かな看護観</p>	N/A